

平成26年度 外国人特別研究員(定着促進) 採用者一覧

領域	氏名・国籍	受入研究者	専攻分野	研究課題	採用期間
総合	GAO, P. Y. 中国	上月 正博 東北大・教授	リハビリテーション科学・福祉工学	リハビリテーション運動療法における臓器連関の機序解明	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
医歯薬学	AL-MAMUN, M. バングラデシュ	下川 宏明 東北大・教授	循環器内科学	新しいRho-kinase阻害薬による肺高血圧治療効果の検討	2014/11/1 ~ 2016/10/31 24ヶ月
工学	LI, Y. 中国	阿部 弘亨 東北大・教授	核融合学	酸化物分散強化鋼の高温照射環境下における強度劣化とその機構の解明	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
生物学	ZHOU, R. 中国	広川 信隆 東大・教授	細胞生物学	KIF26Aの分子遺伝学的研究	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
数物系科学	OBROCHTA, S. P. 米国	横山 祐典 東大・准教授	層位・古生物学	湖底および海洋堆積物を用いた高分解能古気候復元	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
農学	MA, Y. 中国	西原 真杉 東大・教授	獣医学	ストレス条件下の神経新生におけるシクロオキシゲナーゼとプログランユリンの相互作用	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
工学	KIM, C. 韓国	秋山 英文 東大・准教授	電子・電気材料工学	高品質半導体ナノ構造光デバイスの「ものづくり」と基礎物理研究	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
医歯薬学	WANG, C. 中国	内山 真伸 東大・教授	化学系薬学	元素化学・分光学・理論計算で切り拓くアート錯体の化学の新展開	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
化学	CHANDRA, D. インド	八木 政行 新潟大・教授	ナノ材料化学	ポーラス金属酸化物光アノードのナノ構造制御による高効率太陽光水分解	2014/9/30 ~ 2016/9/29 24ヶ月
生物学	TIWARI, D. K. インド	永井 健治 阪大・教授	生物物理学	超解像機能イメージングを可能にする新規蛍光タンパク質プローブの開発	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
化学	JATISHKUMAR インド	河合 壯 奈先大・教授	機能物性化学	セキュリティー応用に向けた増強円偏光発光性分子自己組織材料の創成	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
医歯薬学	AHMED, A. M. エジプト	島本 整 広島大・教授	細菌学(含真菌学)	食品中の多剤耐性病原菌の分子生物学的手法による解析	2014/5/1 ~ 2016/4/30 24ヶ月
総合	RAHMAN, M. A. バングラデシュ	谷 正和 九大・准教授	デザイン学	バングラデシュ農村部における貧困層のための生活環境デザイン手法の研究	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
医歯薬学	DE VEGA, S. スペイン	平澤 恵理 順天堂大・先任准教授	医化学一般	新規細胞外マトリックス分子フィブリン7の生物学的機能解明とその応用を目指す研究	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
人文学	BAOYIN, B. 中国	柳澤 明 早大・教授	アジア史・アフリカ史	日本における遊牧研究史とその新展開	2014/4/1 ~ 2015/3/31 12ヶ月

平成26年度 外国人特別研究員(定着促進) 採用者一覧

領域	氏名・国籍	受入研究者	専攻分野	研究課題	採用期間
工学	ZHEN, G. 中国	徐 開欽 環境研・室長	土木環境システム	嫌気性膜分離リアクターによる排水からのバイオエネルギー回収と汚泥低減	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
工学	MELAMED, S. L. 米国	青柳 昌宏 産総研・研究グループ長	電子デバイス・電子機器	3次元LSIデバイス積層システムにおける放熱を考慮したLSIデバイス設計技術の研究	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
数物系科学	SONG, D. 韓国	永崎 洋 産総研・研究グループ長	物性Ⅱ(実験)	構造最適化による高温超伝導体の転移温度向上	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
総合	CHEN, R. 中国	田中 寿 産総研・主任研究員	環境材料・リサイクル	ヘキサシアノ鉄酸金属錯体を用いた電気化学的Cs回収における高効率吸着電極の開発	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月
総合	WU, H. 中国	王 正明 産総研・上級主任研究員	環境材料・リサイクル	アップコンバージョン効果促進太陽光型光触媒ナノ複合構造及び環境リスク削減への応用	2014/4/1 ~ 2016/3/31 24ヶ月